

愛鷹広域公園におけるサッカー試合中の事故について

(都市局公園緑地課)

1 概要

5月3日に、愛鷹広域公園多目的競技場にて開催されていたJ3リーグのアスクラロ沼津対愛媛FCの試合中に、観客席の手すりが破損し、観客が落下する事故が発生した。施設としては、事故翌日の5月4日から、多目的競技場の芝生席の全面とメインスタンドの1列目を使用禁止としてきたが、安全管理について警察と協議の結果、5月28日のJリーグサッカー試合から、安全措置を講じた上で、使用禁止区域を縮小することとした。今後の施設利用については、利用内容や来場者の状況などを鑑み、主催者と施設で安全措置を講じて利用していく。

2 これまでの経緯

- ・5月3日午後3時40分頃（後半43分頃）、愛媛FCの得点直後にゴール裏の南側芝生席で観戦していた観客14人が、グラウンドと芝生席の境にあったコンクリート壁の上のステンレス製の手すりと一緒に、約1.5m下のグラウンドに落下し、うち女性1人（左目眼底骨折、左肩・両膝打撲等全治2週間）が骨折した。
- ・現場の手すりについては、指定管理者及び試合主催者が、身の乗り出しや足掛け等を禁止しており、注意喚起の看板を掲示していた。
- ・5月3日試合後に、愛鷹広域公園の多目的競技場内の安全点検を実施し、異常なしを確認した。
- ・5月4日から、多目的競技場の芝生席と観客席の1列目を使用禁止とした。

3 今後の対応

- ・安全管理について警察と協議の結果、5月28日のJリーグの試合から、芝生席は最前列と事故が起きたエリア（別添）を立入禁止とし、メインスタンドは最前列の手すりに沿ってコーンを設置し、引き続き注意喚起を促す。
- ・引き続き、怪我をされた方や警察の現場検証等の状況把握に努める。指定管理者及び試合主催者が負傷した観客の対応窓口として、対処を進めている。

<現在の利用例（アスルクラロ沼津資料より）>

